

# 平成30年 青森県人口動態統計（概数）の概況

## 目 次

1	総 評	1
2	結果の要約（対前年比及び全国との比較）	4
3	出生	6
4	死亡	8
5	婚姻・離婚	14
	統 計 表	16
	第1表 人口動態総覧の年次推移	17
	第2表 人口動態総覧（率）の年次推移	18
	第3表 出生数の年次別推移、母の年齢階級（5歳階級）別	18
	第4表 母の年齢階級（5歳階級）別出生数の構成割合	18
	第5表 合計特殊出生率の年次推移（全国、東北6県比較）	19
	第6表 主な死因別にみた死亡率（人口10万対）の年次推移	19
	第7表 死亡順位別にみた死亡数の構成割合	20
	第8表 主な死因別にみた年齢調整死亡率の推移	20
	第9表 乳児死亡数及び死亡率の推移	21
	第10表 新生児死亡数及び死亡率の推移	21
	第11表 周産期死亡数及び死亡率の推移	22

令和元年6月  
青森県健康福祉部  
担当：健康福祉政策課  
直通：017-734-9277  
代表：017-722-1111（内）6215

# 用語等の説明

## 1 用語説明

- ・自然増減：出生数から死亡数を減じたもの。
- ・乳児死亡：生後1年未満の死亡。
- ・新生児死亡：生後4週未満の死亡。
- ・早期新生児死亡：生後1週未満の死亡。
- ・死産：妊娠満12週以後の死児の出産。
- ・周産期死亡：妊娠満22週以後の死産に早期新生児死亡を加えたもの。
- ・合計特殊出生率：15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で、一生の間に生むとした時の平均子ども数に相当する。

## 2 率の算出方法

- (1) 出生・死亡・自然増減・婚姻及び離婚率：人口千対  
(年間発生件数÷総務省推計日本人人口) ×1,000
- (2) 乳児・新生児及び早期新生児死亡率：出生千対  
(年間発生件数÷年間の出生数) ×1,000
- (3) 死産率（自然死産率及び人工死産率を含む。）：出産千対  
{年間発生件数÷年間出産数（出生数+死産数）} ×1,000
- (4) 周産期死亡率及び妊娠満22週以後の死産率：出産千対  
{年間発生件数÷年間出産数（出生数+妊娠満22週以後の死産数）} ×1,000
- (5) 死因別にみた死亡率：人口10万対  
(年間発生件数÷総務省推計日本人人口) ×100,000

## 3 率の算出に用いた人口

### ・平成30年

県分：総務省統計局公表の都道府県別推計日本人人口(平成30年10月1日現在)

総数	1,258,000人
男	591,000人
女	666,000人

### ・平成29年

県分：総務省統計局公表の都道府県別推計日本人人口(平成29年10月1日現在)

総数	1,274,000人
男	599,000人
女	675,000人

## 4 表章記号

- ・計数のない場合 —
- ・統計項目のありえない場合 ・
- ・計数不明又は計数を表章することが不適当な場合 …
- ・比率が微小（表章単位の2分の1未満）の場合 0.0、0.00

## 1 総 評

### (1) 出生数は減少。合計特殊出生率は前年と同率、全国を上回った。

出生数は7,803人で、前年の8,035人より232人減少した。また、1人の女性が一生に産む子どもの数を表す合計特殊出生率は1.43で、前年の1.43と同率となり、全国の1.42を0.01ポイント上回った。

死亡数は17,936人で、出生数と死亡数の差である自然増減数は△10,133人となり、平成11年以来、20年連続の自然減となった。

#### 【県の取組】

平成27年3月に策定した次世代育成支援行動計画「のびのびあおもり子育てプラン」及び平成28年3月に策定した「青森県子どもの貧困対策推進計画」に基づき、妊産婦・乳幼児から成人期に向けた保健医療対策の充実、保護者の選択による満足度の高い保育の提供の推進、様々な環境のある子どもや家庭に対する支援の充実など、子どもを中心に据えた各種施策を切れ目なく展開している。

- ① 妊娠・出産支援として、「特定不妊治療費助成事業」のほか、「乳幼児はつらつ育成事業」（昨年10月から保護者の所得制限基準を約2倍に緩和）を実施し、妊娠期からの経済的負担の軽減を図る。また、「青森県妊産婦情報共有システム」及び「未熟児等情報共有システム」により、妊娠期から切れ目のない支援体制を構築し、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを推進する。
- ② 子育て支援として、子育て家庭の経済的負担の軽減を図る「保育料軽減事業」や病児保育・一時預かりなどの利用者の多様なニーズに応じた満足の高い保育を推進するとともに、それを支える保育人材確保のため、保育サービス事業所認証評価制度を実施し、職員の処遇改善、人材育成及びサービスの質の向上等に取り組む事業者を支援する。
- ③ 自然減対策として、社会全体で子ども・子育てを応援する気運を醸成するための「『みんなで子ども・子育てを応援！』キャンペーン事業」のほか、「家庭福祉対策教育支援貸付費補助事業（大学入学時奨学金）」や「保育士資格取得支援・修学資金等貸付事業」、労働者の仕事と子育ての両立への希望を実現するため企業の「働き方改革」を認証・支援する「あおもり働き方改革推進企業認証制度」を実施する一方、若者や女性の県内定着を促進する社会減対策と両輪で取り組んでおり、今後も、出生数減少に影響している出産世代の人口減少の抑制に取り組んでいく。

### (2) 死亡数は増加

死亡数は17,936人で、前年の17,575人より361人増加した。

また、死因別の順位では、第1位悪性新生物（4,947人、前年比39人減）、第2位心疾患（2,684人、前年比63人増）に続き、第3位脳血管疾患（1,666人、前年比34人減）となっており、これら3つの死因の死亡数を合わせると死亡数全体の5割を超えている。

なお、糖尿病による死亡数は254人で前年より12人増加した。

#### 【県の取組】

- ① 「早世の減少と健康寿命の延伸により全国との健康格差の縮小をめざす」ことを全体目標として、平成25年3月に策定した「健康あおもり21（第2次）」に基づき、肥満予防対策、喫煙防止対策、自殺予防対策を重点課題とし、県民のヘルスリテラシー（健やか力）の向上、ライフステージに応じた生活習慣の改善、生活習慣病の発症予防と重症化予防、県民の健康を支え、守るための社会環境の整備に取り組んでいる。  
ア 今年度は、従業員の健康管理を経営的視点から考え、戦略的に実践する「健康経営®」（※）に取り組む事業所を認定する「青森県健康経営認定制度」の取組を一層推進するため、認定要件の一つとして事業所に設置を求めている「健康づくり担当者」の養成及びフォローアップ、先進

的な取組について周知するための事例集の作成を、県医師会に委託して実施することとしている。

また、協会けんぽ青森支部との協働により、高血圧の未治療者等が多い事業所に医師等をアドバイザーとして派遣し健康教育を実施し、その取組効果について県全体の職域に普及することとしている。

さらに、第一次産業就業者の健康づくりの取組を推進するため、組合員の健康づくりに取り組む農業協同組合、漁業協同組合の女性部と連携し、体験型セミナーによる意識啓発や第一次産業就業者の健康づくりの取組事例集を作成し、広く普及することとしている。

(\*)「健康経営®」：特定非営利活動法人健康経営研究会の登録商標

イ 糖尿病対策については、糖尿病に関する正しい知識を県民に浸透させるため、県職員で構成される「高血糖ストッパーズ」が全県的なキャンペーンを行うとともに、スーパーマーケット等の民間企業との協働により、生活習慣病予防の新たな普及啓発の環境を整備することとしている。

また、糖尿病と歯周病は相互に影響を及ぼすことから、医科歯科連携の体制を検討するほか、医科歯科合同の研修会や県民向け公開講座を開催することとしている。

② 死因の第1位のがん（悪性新生物）については、平成30年度から令和5年度までを期間とする第三次青森県がん対策推進計画の全体目標である

ア 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実

イ 患者本位のがん医療の実現

ウ 尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

に取り組み、「がん患者を含めた県民が、がんを知り、がんの克服を目指す社会の実現」をめざすこととしている。

今年度は、平成30年度に引き続き、がんの早期発見・早期治療のための取組として、女性特有のがん検診の普及・啓発、大腸がん検診の未受診者に対し便潜血検査や内視鏡検査の受診を促し、未受診によるリスクを検証する「大腸がん検診モデル事業」の実施、がん検診の精度向上に向けた市町村への助言等を行うこととしている。

また、平成30年7月の健康増進法の改正により受動喫煙防止対策が強化されたことから、改正内容について県民や事業所等に周知を行うとともに、喫煙が種々のがんのリスク因子となることについて啓発することとしている。

### (3) 乳児・新生児・周産期死亡率いずれも低下

乳児死亡率は、1.9で前年を0.3、新生児死亡率は、1.3で前年を0.3、周産期死亡率は、2.9で前年を1.1それぞれ下回った。

これらの死亡率は、1年単位での死亡数が少ないため、数名の死亡数の増減で大きく変動することから、5年単位で比較しており、乳児死亡率は平成21～25年の2.44から平成26～30年の2.10に低下、新生児死亡率は平成21～25年の1.23から平成26～30年の1.26に上昇、周産期死亡率は平成21～25年の4.00から平成26～30年の3.54に低下した。

#### 【県の取組】

① 乳児死亡、周産期死亡等の改善を図るため、青森県立中央病院総合周産期母子医療センターを中心とした「青森県周産期医療システム」により、医療機関相互の連携及び役割分担を明確化しているほか、「青森県妊産婦情報共有システム」及び「未熟児等情報共有システム」により、地域保健と医療機関の連携、妊婦の健康管理の徹底、未熟児の養育に関する保健指導等により、医学的リスク等の早期発見や妊娠期からの児童虐待予防に努めてきた。

② 平成25年度には、総合周産期母子医療センターのNICU（新生児集中治療室）病床を12床から15床に増床するなど、ハイリスク分娩に対応する体制の更なる整備に取組んできた。

③ 遠隔地から総合周産期母子医療センターを利用する患者・家族のため平成24年7月に県立中央

病院そばに待機宿泊施設(ファミリーハウスあおもり)を開設し、利便性向上と負担軽減を図っている。

- ④ 加えて、平成28年度から、総合周産期母子医療センター及び地域周産期母子医療センターから遠方にあるハイリスク妊産婦等が早期から安心して治療を受けられるよう、ハイリスク妊産婦等に対する交通費等の支援を行う市町村に対する補助事業を実施し、妊産婦の不安解消と周産期死亡率の一層の低下に努めている。
- ⑤ また、市町村子育て世代包括支援センターの設置を支援し、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援の充実を図っている。

#### (4) 自殺者数は減少

自殺による死亡者数は259人で、前年の265人を6人下回った。人口10万人当たりの自殺による死亡率は20.6で、前年の20.8を0.2ポイント下回った。全国における順位は前年の3位から2位となった。

なお、自殺による死亡者数が最多であった平成15年の576人と比べると半数以下となった。

#### 【県の取組】

- ① 平成13年度から、「健康あおもり21」において自殺を重点施策と位置付け、県民に対する正しい知識や理解の普及啓発、相談体制の充実・強化、年代やリスク要因に応じた支援等を体系化し実施してきた。
- ② 平成29年度に自殺対策基本法第13条に定める県の自殺対策計画として「いのち支える青森県自殺対策計画」を策定し、平成30年度から、計画に基づく総合的な自殺対策を推進している。
  - ア 詳細な現状分析に基づき、高齢者対策、生活困窮者対策、勤務・経営問題対策、子ども・若者対策の4分野を重点施策とし、それぞれのリスク要因に着目した効果的な支援を全庁的な体制の下、部門横断的に行う。
  - イ 包括的に自殺対策を推進するため、広く県民に向けた相談窓口の周知やワンストップ型の相談事業等の実施、自殺対策を民間レベルで推進する団体への支援、自殺未遂者支援、職域におけるゲートキーパー養成など幅広い取組を進める。
  - ウ 住民に最も身近な基礎自治体である市町村においても、自殺対策計画を策定していることから、住民の暮らしに密着した地域の特性に応じた自殺対策が推進されるよう、市町村支援を強化する。

## 2 結果の要約（対前年比及び全国との比較）

### （1）出生数は「減少」

本県の出生数は7,803人で、前年の8,035人より232人減少した。出生率（人口千対）は6.2で、前年の6.3を0.1ポイント下回った。また、全国の7.4を1.2ポイント下回り、全国順位は44位（前年46位）であった。

また本県の合計特殊出生率は1.43で、前年の1.43と同率となった。全国の1.42を0.01ポイント上回り、全国順位は35位（前年36位）であった。

### （2）死亡数は「増加」

本県の死亡数は17,936人で、前年の17,575人より361人増加した。死亡率（人口千対）は14.3で、前年の13.8を0.5ポイント上回った。また、全国の11.0を3.3ポイント上回り、全国順位は4位（前年7位）であった。

### （3）乳児死亡数は「減少」

本県の乳児死亡数は15人で、前年の18人より3人減少した。乳児死亡率（出生千対）は1.9で、前年の2.2を0.3ポイント下回った。また、全国の1.9と同率となり、全国順位は21位（前年11位）であった。なお、対象数が少ないため実数1件当たりの影響が大きいことから、5年単位で比較すると、平成21～25年の2.44から平成26～30年の2.10と低下した。

### （4）新生児死亡数は「減少」

本県の新生児死亡数は10人で、前年の13人より3人減少した。新生児死亡率（出生千対）は1.3で、前年の1.6を0.3ポイント下回った。また、全国の0.9を0.4ポイント上回った。なお、対象数が少ないため実数1件当たりの影響が大きいことから、5年単位で比較すると、平成21～25年の1.23から平成26～30年の1.26と上昇した。

### （5）自然増減数は減少幅が「拡大」

本県の自然増減数は△10,133人で、前年の△9,540人より593人減少幅が拡大し、自然増減率（人口千対）は△8.1で前年の△7.5を0.6ポイント下回り、20年連続の自然減となった。

### （6）死産数は「増加」

本県の死産数は191胎（自然死産91胎、人工死産100胎）で、前年の173胎（同81胎、同92胎）より18胎（同10胎増、同8胎増）増加した。死産率（出産（出生＋死産）千対）は23.9で、前年の21.1を2.8ポイント上回った。また、全国の20.9を3.0ポイント上回った。

### （7）周産期死亡数は「減少」

本県の周産期死亡数は23件（妊娠満22週以後の死産15胎、早期新生児死亡8人）で、前年の32件（同21胎、同11人）より9件（同6胎減、同3人減）減少した。周産期死亡率（出産（出生＋妊娠満22週以後の死産）千対）は2.9で、前年の4.0を1.1ポイント下回った。また、全国の3.3を0.4ポイント下回り、全国順位は35位（前年10位）であった。なお、対象数が少ないため実数1件当たりの影響が大きいことから、5年単位で比較すると、平成21～25年の4.00から平成26～30年の3.54と低下した。

### （8）婚姻数は「減少」

本県の婚姻件数は4,736組で、前年の5,122組より386組減少した。婚姻率（人口千対）は3.8で、前年の4.0より0.2ポイント下回った。また、全国の4.7を0.9ポイント下回り、全国順位は43位（前年42位）であった。

### （9）離婚数は「減少」

本県の離婚件数は2,022組で、前年の2,092組より70組減少した。離婚率（人口千対）は1.61で、前年の1.64を0.03ポイント下回った。また、全国の1.68を0.07ポイント下回り、全国順位は26位（前年26位）であった。

表1 人口動態総覧

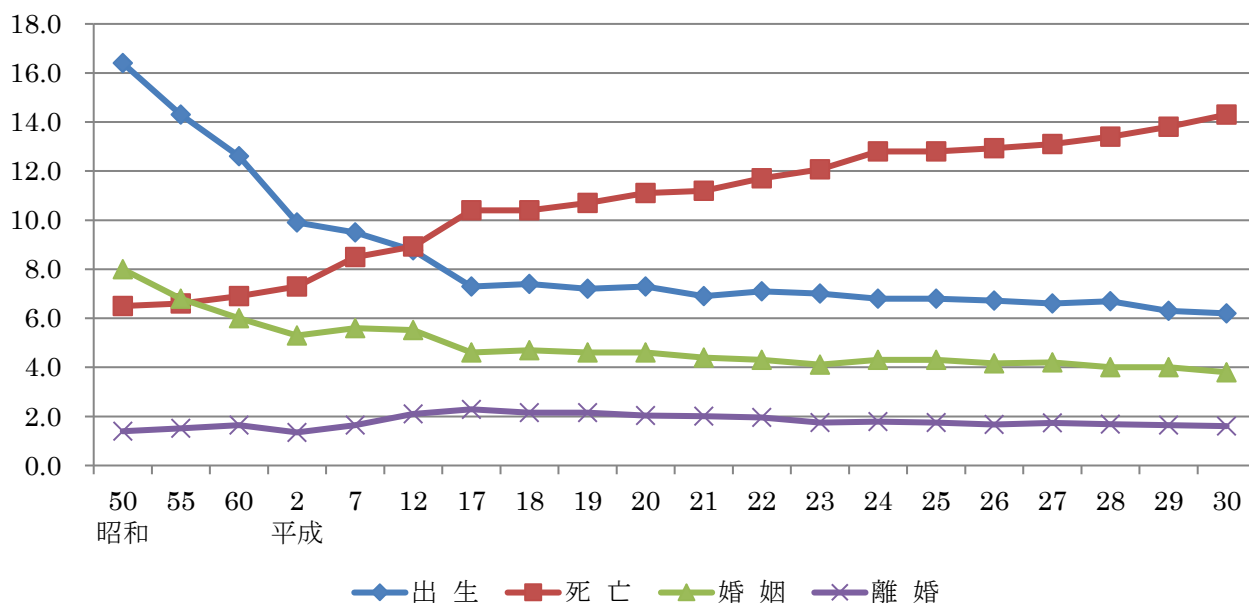
区分	青森県						全国		
	実数			率			率		
	平成30年	平成29年	対前年比	平成30年	平成29年	対前年比	平成30年	平成29年	対前年比
出生	7,803	8,035	△ 232	6.2	6.3	△ 0.1	7.4	7.6	△ 0.2
死亡	17,936	17,575	361	14.3	13.8	0.5	11.0	10.8	0.2
乳児死亡	15	18	△ 3	1.9	2.2	△ 0.3	1.9	1.9	0.0
5年単位	88 (H26~H30)	115 (H21~H25)	△ 27	2.10 (H26~H30)	2.44 (H21~H25)	△ 0.34	1.94 (H26~H30)	2.27 (H21~H25)	△ 0.33
新生児死亡	10	13	△ 3	1.3	1.6	△ 0.3	0.9	0.9	0.0
5年単位	53 (H26~H30)	58 (H21~H25)	△ 5	1.26 (H26~H30)	1.23 (H21~H25)	0.03	0.90 (H26~H30)	1.08 (H21~H25)	△ 0.18
自然増減	△ 10,133	△ 9,540	△ 593	△ 8.1	△ 7.5	△ 0.6	△ 3.6	△ 3.2	△ 0.4
死産	191	173	18	23.9	21.1	2.8	20.9	21.1	△ 0.2
自然死産	91	81	10	11.4	9.9	1.5	9.9	10.1	△ 0.2
人工死産	100	92	8	12.5	11.2	1.3	11.0	11.0	0.0
周産期死亡	23	32	△ 9	2.9	4.0	△ 1.1	3.3	3.5	△ 0.2
5年単位	149 (H26~H30)	189 (H21~H25)	△ 40	3.54 (H26~H30)	4.00 (H21~H25)	△ 0.46	3.57 (H26~H30)	4.05 (H21~H25)	△ 0.48
妊娠満22週以後の死産	15	21	△ 6	1.9	2.6	△ 0.7	2.6	2.8	△ 0.2
早期新生児死亡	8	11	△ 3	1.0	1.4	△ 0.4	0.7	0.7	0.0
婚姻	4,736	5,122	△ 386	3.8	4.0	△ 0.2	4.7	4.9	△ 0.2
離婚	2,022	2,092	△ 70	1.61	1.64	△ 0.03	1.68	1.70	△ 0.02

表2 合計特殊出生率

区分	平成30年	平成29年
青森県	1.43	1.43
全国	1.42	1.43

図1 人口動態総覧（率）の年次推移

(人口千対)



### 3 出生

#### (1) 出生数

青森県の平成 30 年の出生数は 7,803 人で、前年の 8,035 人より 232 人減少した。

青森県の出生数は、昭和 25 年から一貫して減少傾向にあり、昭和 50 年には出生数が 24,000 人を超えていたが、平成 21 年以降は 10,000 人を割り込んでいる。

出生率（人口千対）は 6.2 で、前年の 6.3 を 0.1 ポイント下回った。また全国は 7.4 で、1.2 ポイント下回る結果となった。

#### (2) 合計特殊出生率の年次推移

平成 30 年の合計特殊出生率は 1.43 で、前年の 1.43 と同率となり、全国の 1.42 を 0.01 ポイント上回った。

青森県の合計特殊出生率は、昭和 40 年代から平成 21 年まで一貫して低下傾向にあったが、平成 25 年から 1.40 台を維持している。

図 2 出生数及び合計特殊出生率の年次推移

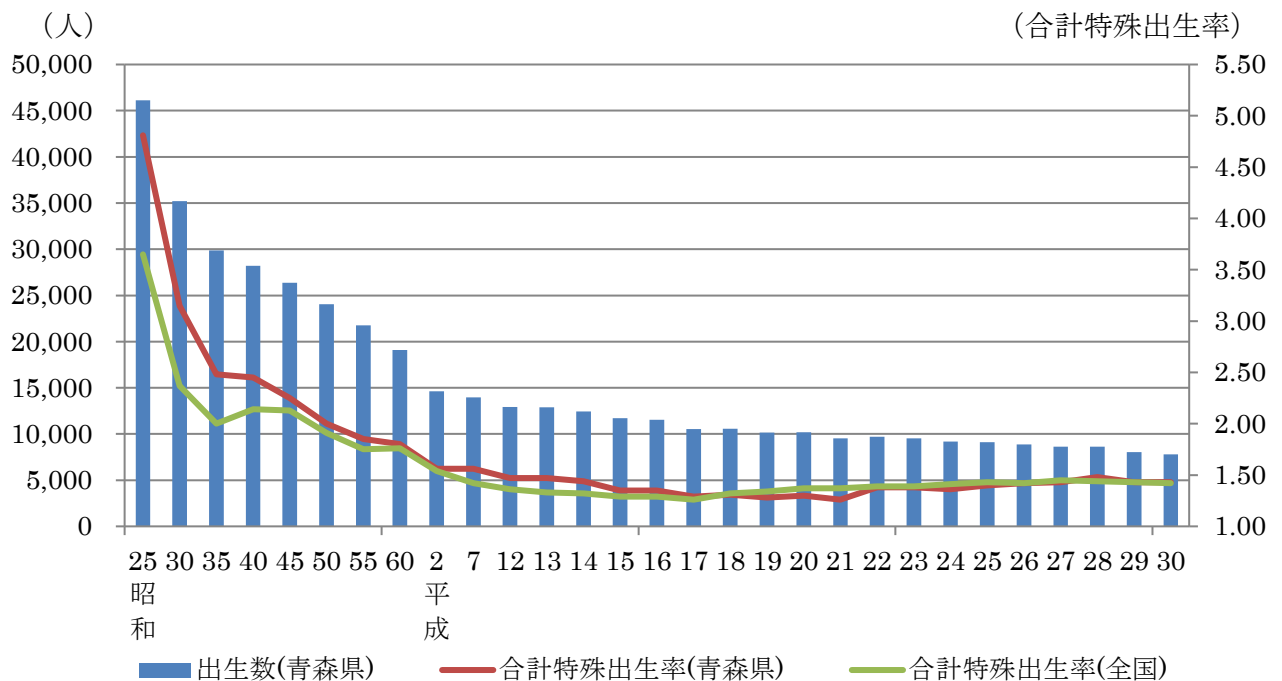
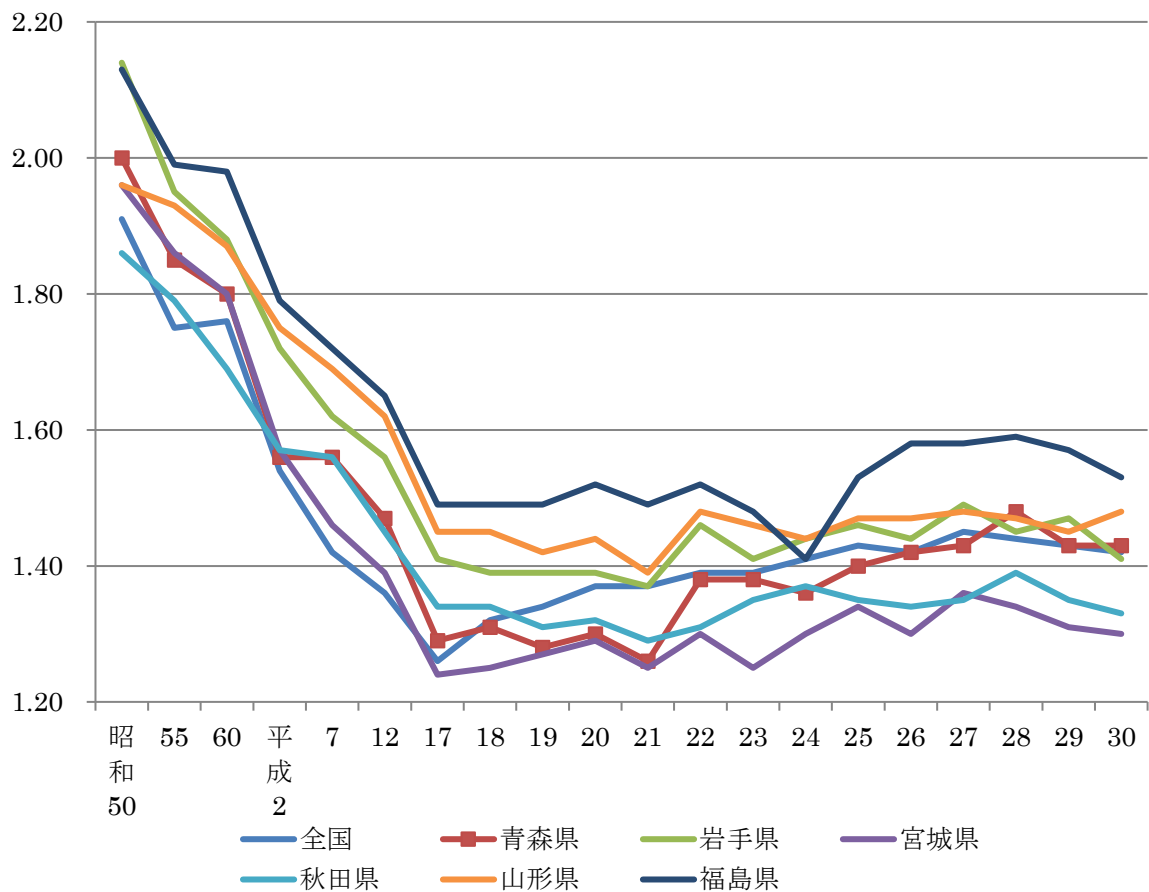




図3 合計特殊出生率の年次推移（全国、東北他県との比較）



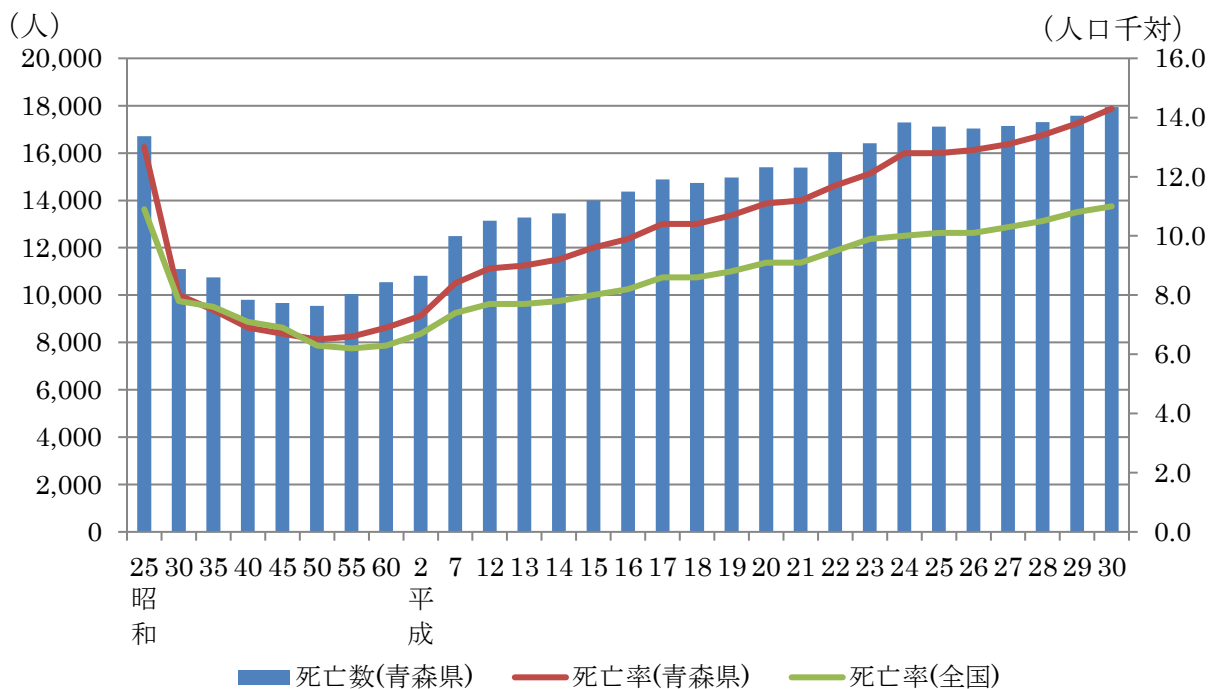
## 4 死亡

### (1) 死亡数・死亡率

平成 30 年の死亡数は 17,936 人で、前年の 17,575 人より 361 人増加し、死亡率（人口千対）は 14.3（全国 11.0）で、前年の 13.8（全国 10.8）を 0.5 ポイント上回った。

青森県の死亡者は、高齢化の進行に伴い昭和 52 年以降増加傾向にあり、昭和 55 年には 10,000 人を、平成 20 年には 15,000 人を超えるに至っている。

図 4 死亡数及び死亡率の年次推移



### (2) 死因

#### ① 主な死因

平成 30 年の死因の第 1 位は悪性新生物で、死亡数 4,947 人、死亡率（人口 10 万対）は 393.2 となった。第 2 位は心疾患で死亡数 2,684 人、死亡率 213.4、第 3 位は脳血管疾患で、死亡数 1,666 人、死亡率 132.4 となった。これらの 3 つの死因で、死亡者 9,297 人と、全体の 51.8%（前年 53.0%）を占めている。

#### ア 悪性新生物

悪性新生物による死亡率（人口 10 万対）は 393.2 で前年の 391.4 を 1.8 ポイント上回り、全国順位は 2 位（前年 2 位）となった。

死亡率は年々上昇しており、昭和 50 年には 117.9 であったものが、平成 30 年には 393.2 と 3 倍を超えるに至っている。

#### イ 心疾患

心疾患による死亡率（人口 10 万対）は 213.4 で前年の 205.7 を 7.7 ポイント上回り、全国順位は 12 位（前年 13 位）となった。

死亡率は上昇・低下を繰り返しているが、長期的には上昇傾向にある。

#### ウ 脳血管疾患

脳血管疾患による死亡率（人口 10 万対）は 132.4 で前年の 133.4 を 1.0 ポイント下回り、全国順位は 4 位（前年 4 位）となった。

昭和 50 年には死亡順位が第 1 位であったが、その後は低下傾向となり、昭和 57 年には悪

性新生物に替わり第2位となった。さらに昭和61年には心疾患に替わって第3位となり、平成25、27、28年に肺炎に替って第4位となったが、平成26年及び平成29年以降は第3位となっている。

図5 主な死因別死亡数の割合（平成30年）

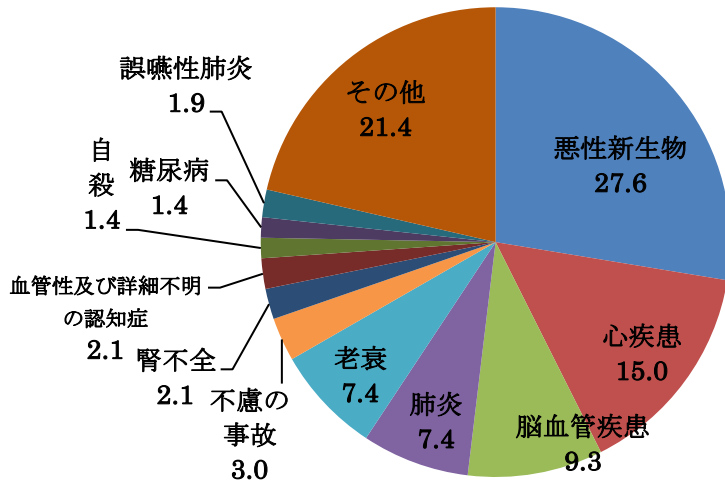
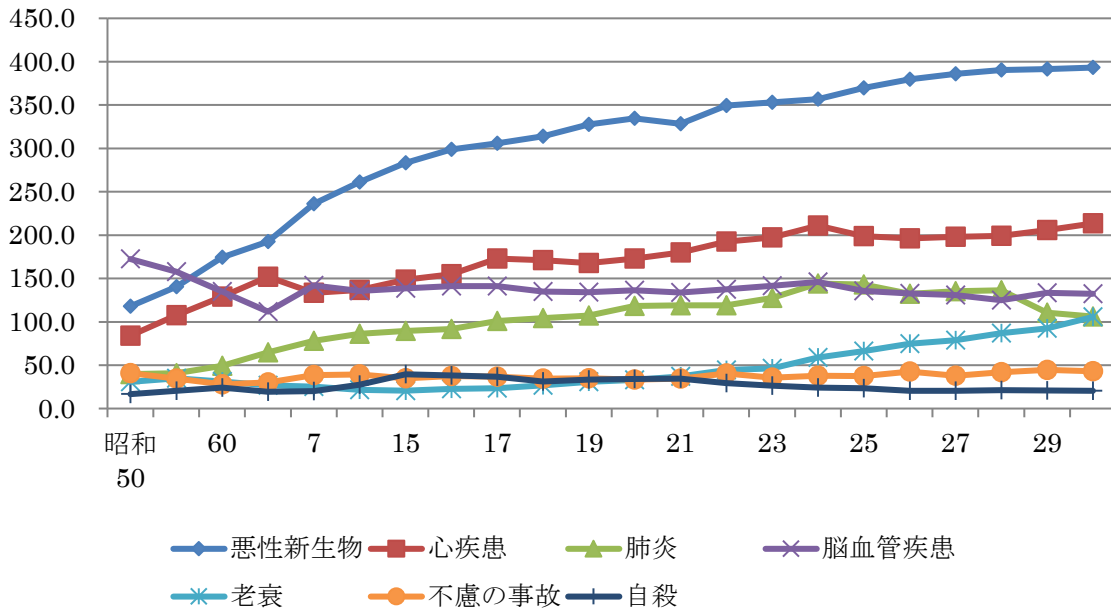


表3 主な死因別にみた死亡数・死亡率・順位

死 因	平成30年			平成29年		
	総 数			総 数		
	死 亡 数	率	全国順位	死 亡 数	率	全国順位
死 亡 総 数	17,936	1,425.8	4	17,575	1,379.5	7
悪性新生物	4,947	393.2	2	4,986	391.4	2
心 疾 患	2,684	213.4	12	2,621	205.7	13
脳血管疾患	1,666	132.4	4	1,700	133.4	4
肺 炎	1,336	106.2	7	1,407	110.4	8
老 衰	1,328	105.6	18	1,178	92.5	22
不慮の事故	541	43.0	16	568	44.6	9
血管性及び詳細不明 の 認 知 症	376	29.9	3	336	26.4	5
腎 不 全	373	29.7	8	376	29.5	5
誤嚥性肺炎	332	26.4	39	240	18.8	47
自 殺	259	20.6	2	265	20.8	3
糖 尿 病	254	20.2	1	242	19.0	2

図6 主な死因別にみた死亡率の年次推移

(人口10万対)



② 自殺

平成30年の自殺による死亡者数は259人で、前年の265人より6人減少した。また死亡率(人口10万対)は20.6(全国16.1)で、前年の20.8(全国16.4)を0.2ポイント下回った。

図7 自殺による死亡者数・死亡率の推移

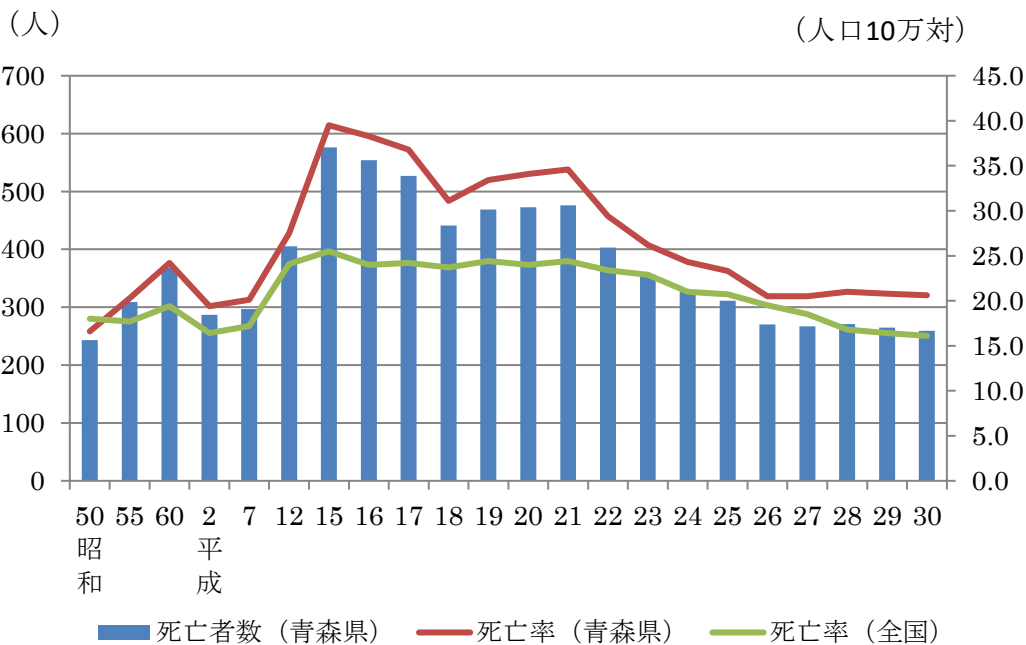


表4 自殺による死亡者数・死亡率の推移

区分	平成21年		22		23		24		25		
	死亡者数	死亡率	死亡者数	死亡率	死亡者数	死亡率	死亡者数	死亡率	死亡者数	死亡率	
青森県	男性	359	55.6	297	46.1	261	40.8	232	36.7	225	35.9
	女性	117	16.0	106	14.6	95	13.2	95	13.3	86	12.2
	総数	476	34.6	403	29.4	356	26.2	327	24.3	311	23.3
	順位	2		3		7		7		8	
全国	男性	22,189	36.2	21,028	34.2	19,904	32.4	18,485	30.1	18,158	29.7
	女性	8,518	13.2	8,526	13.2	8,992	13.9	7,948	12.3	7,905	12.3
	総数	30,707	24.4	29,554	23.4	28,896	22.9	26,433	21.0	26,063	20.7

区分	平成26年		27		28		29		30		
	死亡者数	死亡率	死亡者数	死亡率	死亡者数	死亡率	死亡者数	死亡率	死亡者数	死亡率	
青森県	男性	192	31.0	199	32.4	195	32.2	203	33.9	/	/
	女性	78	11.2	68	9.8	76	11.1	62	9.2	/	/
	総数	270	20.5	267	20.5	271	21.0	265	20.8	259	20.6
	順位	12		11		5		3		2	
全国	男性	16,875	27.6	16,202	26.6	14,639	24.1	14,333	23.6	13,854	22.9
	女性	7,542	11.7	6,950	10.8	6,378	9.9	6,132	9.6	6,178	9.7
	総数	24,417	19.5	23,152	18.5	21,017	16.8	20,465	16.4	20,032	16.1

※ 青森県の男女別死亡数は、今回、国から公表されないため、斜線とした。

表5 都道府県別自殺死亡率（上位・下位5位）

区分	平成21年		22		23		24		25		
	県名	死亡率	県名	死亡率	県名	死亡率	県名	死亡率	県名	死亡率	
高死亡率	1位	秋田	38.1	秋田	33.1	秋田	32.3	秋田	27.6	秋田	26.5
	2位	青森	34.6	岩手	32.2	岩手	28.3	新潟	26.4	岩手	26.4
	3位	岩手	34.4	青森	29.4	新潟	27.7	高知	25.9	新潟	26.1
	4位	島根	30.9	新潟	28.6	宮崎	27.7	岩手	25.3	島根	25.4
	5位	高知	30.5	山梨	27.4	沖縄	27.2	山形	25.3	群馬	25.2
						青森	26.2(7位)	青森	24.3(7位)	青森	23.3(8位)
低死亡率	43位	愛知	20.9	福井	20.1	三重	19.8	愛知	18.3	佐賀	18.1
	44位	岡山	20.8	愛知	19.8	広島	19.6	奈良	17.7	神奈川	17.9
	45位	香川	20.7	徳島	19.5	徳島	18.8	長崎	17.5	福井	17.9
	46位	滋賀	20.2	三重	19.3	福井	18.4	香川	17.5	岡山	17.8
	47位	奈良	19.6	奈良	19.2	奈良	17.4	京都	17.3	石川	17.7

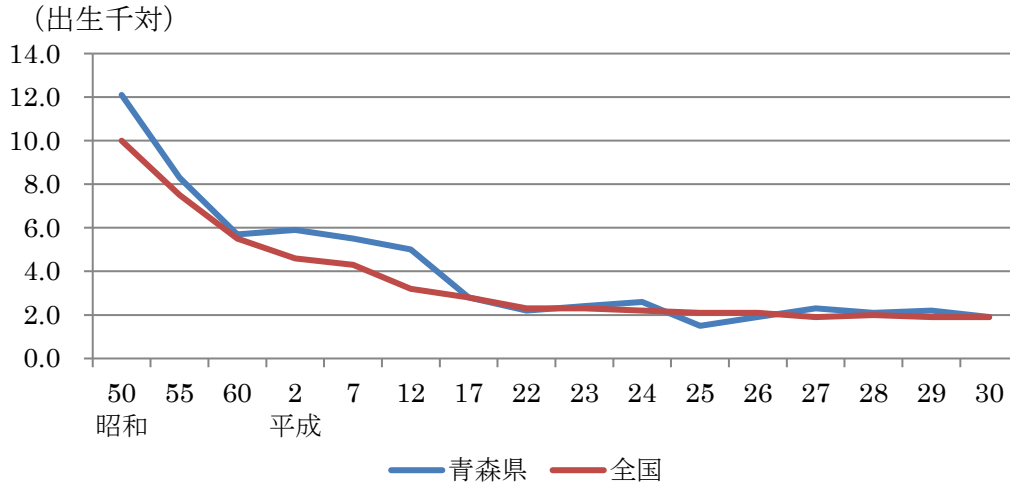
区分	平成26年		27		28		29		30		
	県名	死亡率	県名	死亡率	県名	死亡率	県名	死亡率	県名	死亡率	
高死亡率	1位	岩手	26.6	秋田	25.7	秋田	23.8	秋田	24.4	和歌山	21.2
	2位	秋田	26.0	岩手	23.3	岩手	22.9	岩手	21.0	青森	20.6
	3位	宮崎	23.9	宮崎	23.2	新潟	21.8	青森	20.8	岩手	20.5
	4位	新潟	23.5	島根	22.9	和歌山	21.7	愛媛	20.3	秋田	20.3
	5位	富山	22.8	新潟	22.0	青森	21.0	福島	20.2	福島	19.7
		青森	20.5(12位)	青森	20.5(11位)						
低死亡率	43位	奈良	17.1	香川	16.2	神奈川	14.6	滋賀	14.5	愛知	13.7
	44位	福井	17.1	愛知	16.0	鳥取	14.5	愛知	14.4	岡山	13.5
	45位	岡山	17.0	奈良	15.9	愛知	14.4	京都	14.1	京都	13.3
	46位	佐賀	17.0	高知	15.7	京都	14.2	奈良	14.1	石川	12.9
	47位	石川	15.7	福井	15.4	奈良	13.6	岡山	14.0	徳島	12.4

### (3) 乳児死亡等

#### ① 乳児死亡

平成 30 年の乳児死亡数は 15 人で、前年の 18 人より 3 人減少した。乳児死亡率（出生千対）は 1.9（全国 1.9）で、前年の 2.2（全国 1.9）を 0.3 ポイント下回った。

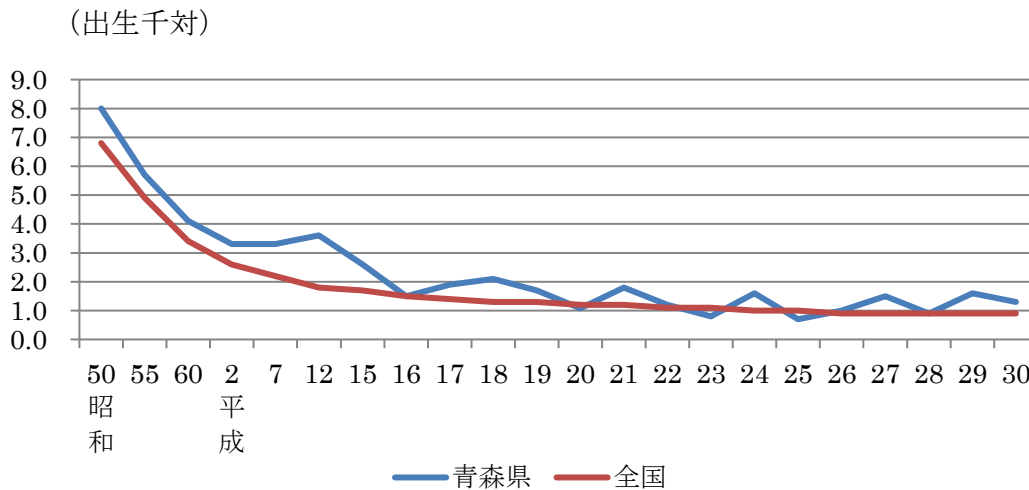
図 8 乳児死亡率の年次推移



#### ② 新生児死亡

平成 30 年の新生児死亡数は 10 人で、前年の 13 人より 3 人減少した。新生児死亡率（出生千対）は 1.3（全国 0.9）で、前年の 1.6（全国 0.9）を 0.3 ポイント下回った。

図 9 新生児死亡率の年次推移



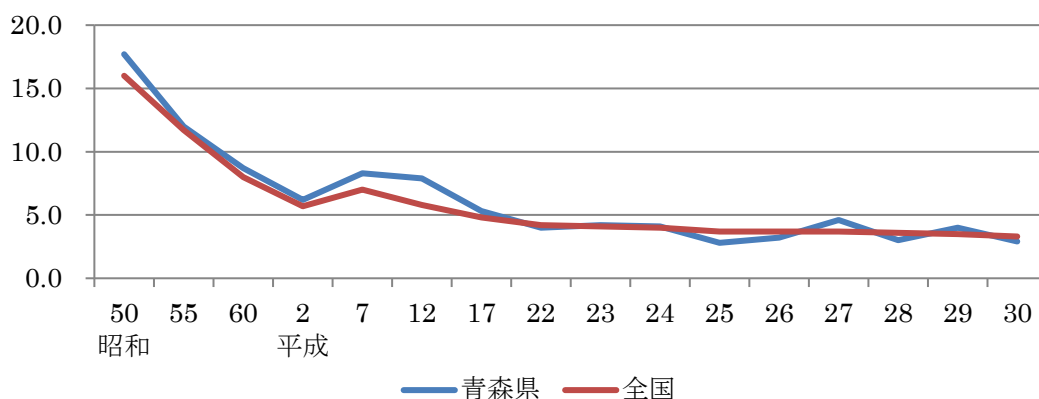
#### ③ 周産期死亡

平成 30 年の周産期死亡数は 23 件で、前年の 32 件より 9 件減少した。周産期死亡率（出産千対）は 2.9（全国 3.3）で、前年の 4.0（全国 3.5）を 1.1 ポイント下回った。

また、周産期死亡の内訳は満 22 週以降の死産が 15 胎、早期新生児死亡が 8 人であった。

図10 周産期死亡率の年次推移

(出生千対、出産千対)



※ 死亡数、死亡率の算定方法が、平成6年以前と平成7年以降では異なっている。

	死亡数	死亡率
平成6年以前	妊娠28週以後死産 + 早期新生児	出生千対
平成7年以降	妊娠22週以後死産 + 早期新生児	出産千対 (出生+妊 娠22週以後死産)

④ 5か年比較

①～③については、対象数が少ないため実数1件当たりの影響が大きいことから平成21年から25年までと、平成26年から平成30年までの5年単位で比較すると、実数ではいずれも減少し、率では新生児死亡以外は低下した。

表6 乳児死亡・新生児死亡・周産期死亡 (実数・率) の5か年比較

区分	乳児死亡				新生児死亡				周産期死亡				
	人数	5年合計	率	5年平均	人数	5年合計	率	5年平均	人数	5年合計	率	5年平均	
青森県	平成21	33	115	3.5	2.44	17	58	1.8	1.23	46	189	4.8	4.00
	22	21		2.2		12		1.2		39		4.0	
	23	23		2.4		8		0.8		40		4.2	
	24	24		2.6		15		1.6		38		4.1	
	25	14		1.5		6		0.7		26		2.8	
	26	17	88	1.9	2.10	9	53	1.0	1.26	28	149	3.2	3.54
	27	20		2.3		13		1.5		40		4.6	
	28	18		2.1		8		0.9		26		3.0	
	29	18		2.2		13		1.6		32		4.0	
	30	15		1.9		10		1.3		23		2.9	
全国	平成21	2,556	11,953	2.4	2.27	1,254	5,659	1.2	1.08	4,519	21,344	4.2	4.05
	22	2,450		2.3		1,167		1.1		4,515		4.2	
	23	2,463		2.3		1,147		1.1		4,315		4.1	
	24	2,299		2.2		1,065		1.0		4,133		4.0	
	25	2,185		2.1		1,026		1.0		3,862		3.7	
	26	2,080	9,433	2.1	1.94	952	4,361	0.9	0.90	3,750	17,348	3.7	3.57
	27	1,916		1.9		902		0.9		3,728		3.7	
	28	1,928		2.0		874		0.9		3,516		3.6	
	29	1,761		1.9		832		0.9		3,308		3.5	
	30	1,748		1.9		801		0.9		3,046		3.3	

※ 「5年平均の率」は、「5年合計」を乳児・新生児死亡については5年分出生数で、周産期死亡については5年分出産数 (出生数+妊娠満22週以降の死産数) で除した数値である。

## 5 婚姻・離婚

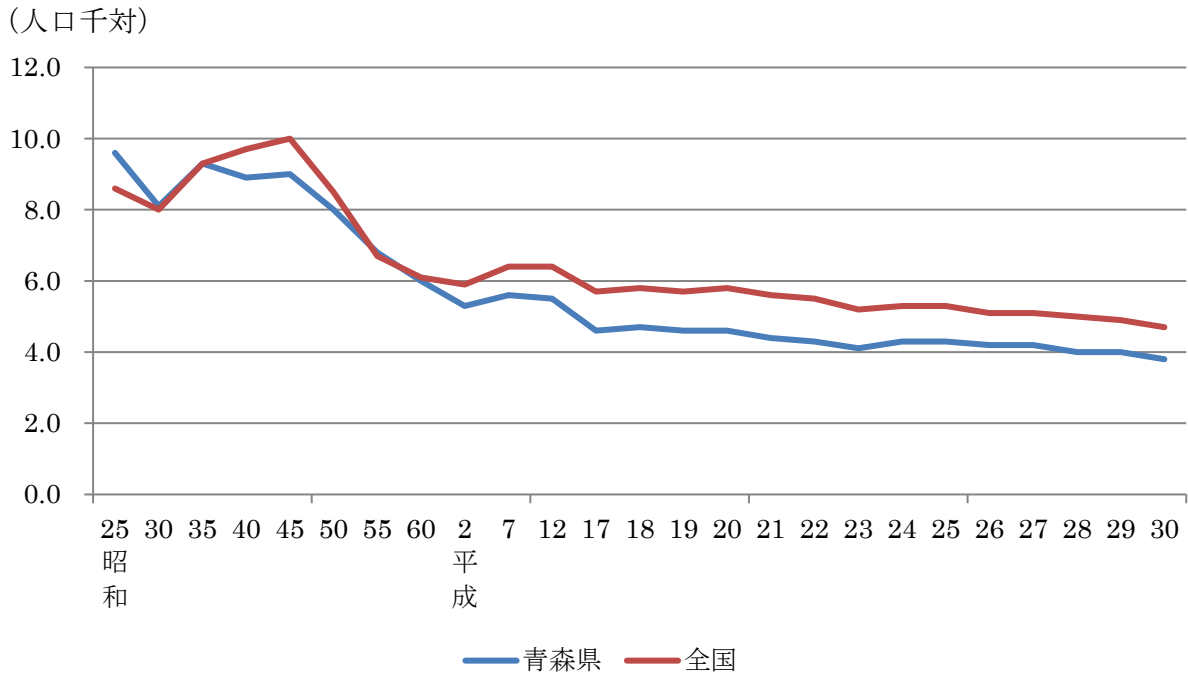
### (1) 婚姻

#### ① 婚姻件数

平成 30 年の婚姻件数は 4,736 組で、前年の 5,122 組より 386 組減少し、婚姻率（人口千対）は 3.8（全国 4.7）で、前年の 4.0（全国 4.9）を 0.2 ポイント下回った。

本県の婚姻件数・婚姻率は、長期的に減少・低下傾向にある。

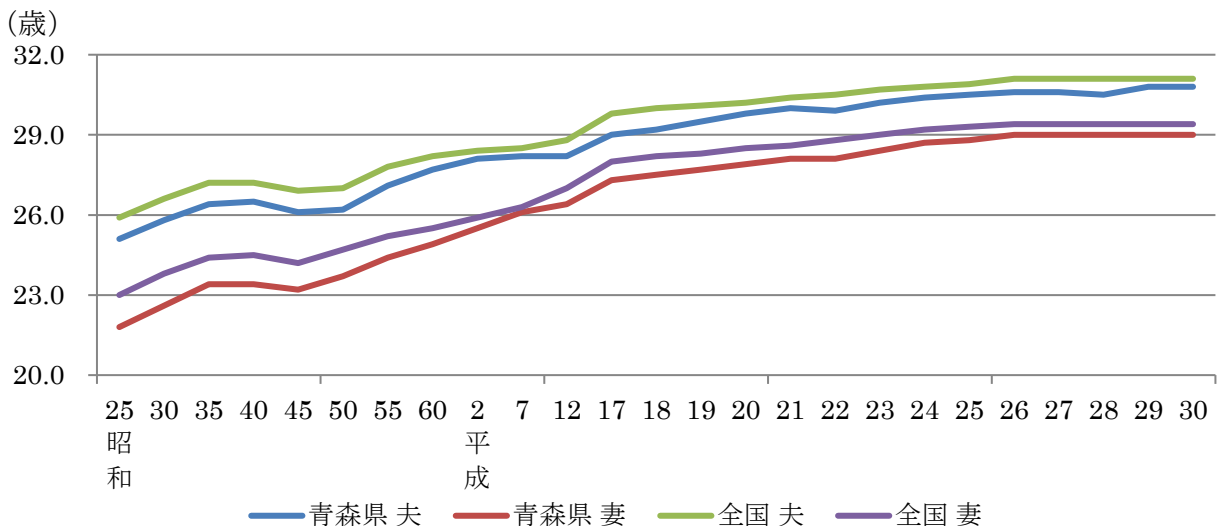
図 1 1 婚姻率の推移



#### ② 平均初婚年齢

平成 30 年の平均初婚年齢は、男性が 30.8 歳（全国 31.1 歳）、女性が 29.0 歳（全国 29.4 歳）で、男性は前年の 30.8 歳（全国 31.1 歳）、女性は前年の 29.0 歳（全国 29.4 歳）と同値であった。

図 1 2 平均初婚年齢の推移



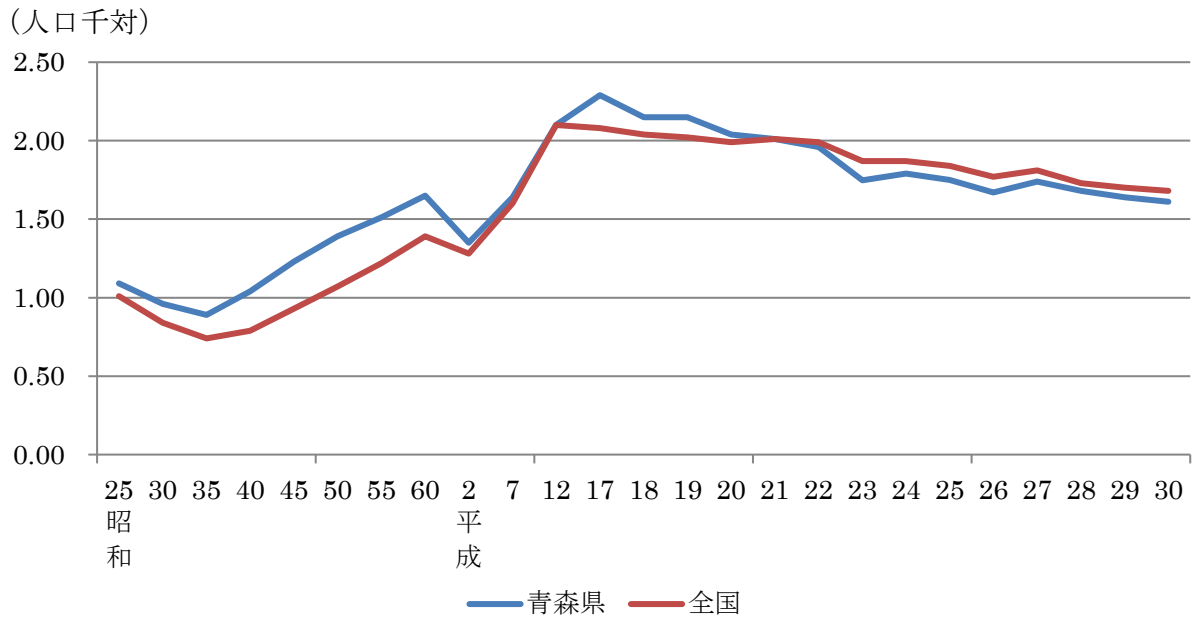


## (2) 離婚

平成 30 年の離婚件数は 2,022 組で、前年の 2,092 組より 70 組減少し、離婚率（人口千対）は 1.61（全国 1.68）で、前年の 1.64（全国 1.70）を 0.03 ポイント下回った。

本県の離婚件数、離婚率については、平成 15 年にピークに達し、その後は緩やかな減少・低下傾向にある。

図 1 3 青森県の離婚率の推移



# 統計表

第1表 人口動態総覧の年次推移

年	出生数	死亡数	自然 増減数	乳児 死亡数	新生児 死亡数	死産数			周産期 死亡数	婚姻件数	離婚件数
						総数	自然	人工			
昭和25年	46,137	16,707	29,430	4,404	...	3,885	1,845	2,040	...	12,366	1,396
30	35,219	11,094	24,125	2,043	942	3,216	1,339	1,877	1,403	11,213	1,329
35	29,881	10,742	19,139	1,370	663	3,367	1,592	1,775	1,314	13,205	1,276
40	28,204	9,805	18,399	822	507	2,561	1,352	1,209	909	12,592	1,480
45	26,369	9,669	16,700	468	293	2,090	1,188	902	631	12,878	1,763
50	24,031	9,546	14,485	291	193	1,583	951	632	425	11,695	2,047
55	21,761	10,052	11,709	180	124	1,122	735	387	261	10,414	2,307
60	19,095	10,547	8,548	109	78	1,010	490	520	166	9,175	2,512
61	18,353	10,043	8,310	103	60	951	485	466	150	8,902	2,511
62	17,324	10,200	7,124	107	68	855	442	413	155	8,200	2,369
63	16,373	10,751	5,622	98	62	777	396	381	119	8,136	2,045
平成1年	15,544	10,901	4,643	105	69	748	378	370	136	7,858	2,202
2	14,635	10,812	3,823	86	48	645	311	334	91	7,892	2,001
3	15,030	11,241	3,789	76	39	565	292	273	89	7,868	2,205
4	14,486	11,631	2,855	68	35	610	274	336	81	8,180	2,266
5	14,357	12,210	2,147	75	40	562	266	296	87	8,636	2,385
6	14,767	11,950	2,817	61	41	542	276	266	87	8,239	2,331
7	13,972	12,496	1,476	77	46	527	235	292	116	8,306	2,429
8	13,955	12,542	1,413	60	36	480	220	260	102	8,190	2,496
9	13,606	12,768	838	44	20	494	232	262	101	7,912	2,650
10	13,594	12,752	842	49	28	498	207	291	83	8,113	2,806
11	13,146	13,445	△ 299	67	46	467	181	286	87	7,730	2,888
12	12,920	13,147	△ 227	64	47	471	200	271	103	8,138	3,092
13	12,889	13,281	△ 392	48	28	460	190	270	92	8,069	3,440
14	12,434	13,446	△ 1,012	46	31	426	171	255	76	7,730	3,631
15	11,723	13,995	△ 2,272	45	30	415	163	252	73	7,130	3,645
16	11,554	14,372	△ 2,818	27	17	369	160	209	59	6,924	3,429
17	10,524	14,882	△ 4,358	29	20	367	154	213	56	6,584	3,281
18	10,556	14,733	△ 4,177	32	22	382	166	216	68	6,642	3,044
19	10,162	14,968	△ 4,806	26	17	311	131	180	55	6,405	3,014
20	10,187	15,400	△ 5,213	21	11	290	130	160	45	6,401	2,828
21	9,523	15,387	△ 5,864	33	17	290	139	151	46	6,067	2,768
22	9,711	16,030	△ 6,319	21	12	283	142	141	39	5,924	2,679
23	9,531	16,419	△ 6,888	23	8	256	120	136	40	5,583	2,377
24	9,168	17,294	△ 8,126	24	15	260	119	141	38	5,846	2,408
25	9,126	17,112	△ 7,986	14	6	239	112	127	26	5,723	2,335
26	8,853	17,042	△ 8,189	17	9	250	108	142	28	5,481	2,195
27	8,621	17,148	△ 8,527	20	13	216	102	114	40	5,432	2,267
28	8,626	17,309	△ 8,683	18	8	183	81	102	26	5,135	2,164
29	8,035	17,575	△ 9,540	18	13	173	81	92	32	5,122	2,092
30	7,803	17,936	△ 10,133	15	10	191	91	100	23	4,736	2,022

第2表 人口動態総覧（率）の年次推移

年	出生	死亡	自然増減	乳児死亡	新生児死亡	死産（出産千対）			周産期死亡	婚姻	離婚	合計特殊出生率
	（人口千対）			（出生千対）		総数	自然	人工	（出産千対）	（人口千対）		
昭和25年	36.0	13.0	22.9	95.5	...	77.7	36.9	40.8	...	9.6	1.09	4.81
30	25.5	8.0	17.4	58.0	26.7	83.7	34.8	48.8	39.8	8.1	0.96	3.15
35	20.9	7.5	13.4	45.8	22.2	101.3	47.9	53.4	44.0	9.3	0.89	2.48
40	19.9	6.9	13.0	29.1	18.0	83.2	43.9	39.3	32.2	8.9	1.04	2.45
45	18.5	6.8	11.6	17.7	11.1	73.4	41.7	31.7	23.9	9.0	1.24	2.25
50	16.4	6.5	9.9	12.1	8.0	61.8	37.1	24.7	17.7	8.0	1.40	2.00
55	14.3	6.6	7.7	8.3	5.7	49.0	32.1	16.9	12.0	6.8	1.52	1.85
60	12.6	6.9	5.6	5.7	4.1	50.2	24.4	25.9	8.7	6.0	1.65	1.80
61	12.1	6.6	5.5	5.6	3.3	49.3	25.1	24.1	8.2	5.9	1.65	1.70
62	11.5	6.7	4.7	6.2	3.9	47.0	24.3	22.7	8.9	5.4	1.57	1.71
63	10.9	7.1	3.7	6.0	3.8	45.3	23.1	22.2	7.3	5.4	1.36	1.63
平成1年	10.4	7.3	3.1	6.8	4.4	45.9	23.3	22.7	8.7	5.2	1.47	1.55
2	9.9	7.3	2.6	5.9	3.3	42.2	20.4	21.9	6.2	5.3	1.35	1.56
3	10.2	7.6	2.6	5.1	2.6	36.2	18.7	17.5	5.9	5.3	1.50	1.65
4	9.9	7.9	1.9	4.7	2.4	40.4	18.2	22.3	5.6	5.6	1.54	1.61
5	9.8	8.3	1.5	5.2	2.8	37.7	17.8	19.8	6.1	5.9	1.63	1.58
6	10.1	8.1	1.9	4.1	2.8	35.4	18.0	17.4	5.9	5.6	1.59	1.64
7	9.5	8.5	1.0	5.5	3.3	36.3	16.2	20.1	8.3	5.6	1.64	1.56
8	9.4	8.5	1.0	4.3	2.6	33.3	15.2	18.0	7.3	5.5	1.69	1.54
9	9.2	8.6	0.6	3.2	1.5	35.0	16.5	18.6	7.4	5.4	1.79	1.50
10	9.2	8.6	0.6	3.6	2.1	35.3	14.7	20.7	6.1	5.5	1.90	1.50
11	8.9	9.1	△ 0.2	5.1	3.5	34.3	13.3	21.0	6.6	5.2	1.96	1.46
12	8.8	8.9	△ 0.2	5.0	3.6	35.2	14.9	20.2	7.9	5.5	2.10	1.47
13	8.8	9.0	△ 0.3	3.7	2.2	34.5	14.2	20.2	7.1	5.5	2.34	1.47
14	8.5	9.2	△ 0.7	3.7	2.5	33.1	13.3	19.8	6.1	5.3	2.48	1.44
15	8.0	9.6	△ 1.6	3.8	2.6	34.2	13.4	20.8	6.2	4.9	2.50	1.35
16	8.0	9.9	△ 1.9	2.3	1.5	30.9	13.4	17.5	5.1	4.8	2.37	1.35
17	7.3	10.4	△ 3.0	2.8	1.9	33.7	14.1	19.6	5.3	4.6	2.29	1.29
18	7.4	10.4	△ 2.9	3.0	2.1	34.9	15.2	19.7	6.4	4.7	2.15	1.31
19	7.2	10.7	△ 3.4	2.6	1.7	29.7	12.5	17.2	5.4	4.6	2.15	1.28
20	7.3	11.1	△ 3.8	2.1	1.1	27.7	12.4	15.3	4.4	4.6	2.04	1.30
21	6.9	11.2	△ 4.3	3.5	1.8	29.6	14.2	15.4	4.8	4.4	2.01	1.26
22	7.1	11.7	△ 4.6	2.2	1.2	28.3	14.2	14.1	4.0	4.3	1.96	1.38
23	7.0	12.1	△ 5.1	2.4	0.8	26.2	12.3	13.9	4.2	4.1	1.75	1.38
24	6.8	12.8	△ 6.0	2.6	1.6	27.6	12.6	15.0	4.1	4.3	1.79	1.36
25	6.8	12.8	△ 6.0	1.5	0.7	25.5	12.0	13.6	2.8	4.3	1.75	1.40
26	6.7	12.9	△ 6.2	1.9	1.0	27.5	11.9	15.6	3.2	4.2	1.67	1.42
27	6.6	13.1	△ 6.5	2.3	1.5	24.4	11.5	12.9	4.6	4.2	1.74	1.43
28	6.7	13.4	△ 6.7	2.1	0.9	20.8	9.2	11.6	3.0	4.0	1.68	1.48
29	6.3	13.8	△ 7.5	2.2	1.6	21.1	9.9	11.2	4.0	4.0	1.64	1.43
30	6.2	14.3	△ 8.1	1.9	1.3	23.9	11.4	12.5	2.9	3.8	1.61	1.43

第3表 出生数の年次別推移、母の年齢階級（5歳階級）別

※出生数総数には母の年齢14歳以下、50歳以上及び年齢不詳が含まれている。

母の年齢	平成2年	7	12	17	22	23	24	25	26	27	28	29	30
総数	14,635	13,972	12,920	10,524	9,711	9,531	9,168	9,126	8,853	8,621	8,626	8,035	7,803
(再掲)													
15歳～19歳	200	240	297	192	143	142	131	141	158	125	109	89	85
20歳～24歳	2,467	2,614	2,361	1,730	1,344	1,250	1,127	1,065	1,035	1,002	976	925	832
25歳～29歳	6,430	5,406	4,694	3,473	3,086	2,948	2,881	2,631	2,528	2,439	2,374	2,175	2,185
30歳～34歳	4,266	4,244	3,944	3,451	3,108	3,181	2,983	3,126	3,007	2,972	2,939	2,727	2,685
35歳～39歳	1,131	1,296	1,414	1,446	1,736	1,725	1,697	1,803	1,762	1,718	1,834	1,719	1,592
40歳～44歳	140	167	201	227	285	281	337	352	352	358	387	388	414
45歳～49歳	1	4	9	5	8	4	12	5	10	7	7	11	9

第4表 母の年齢階級（5歳階級）別出生数の構成割合

母の年齢	平成2年	7	12	17	22	23	24	25	26	27	28	29	30
15歳～19歳	1.4	1.7	2.3	1.8	1.5	1.5	1.4	1.5	1.8	1.4	1.3	1.1	1.1
20歳～24歳	16.9	18.7	18.3	16.4	13.8	13.1	12.3	11.7	11.7	11.6	11.3	11.5	10.7
25歳～29歳	43.9	38.7	36.3	33.0	31.8	30.9	31.4	28.8	28.6	28.3	27.5	27.1	28.0
30歳～34歳	29.1	30.4	30.5	32.8	32.0	33.4	32.5	34.3	34.0	34.5	34.1	33.9	34.4
35歳～39歳	7.7	9.3	10.9	13.7	17.9	18.1	18.5	19.8	19.9	19.9	21.3	21.4	20.4
40歳～44歳	1.0	1.2	1.6	2.2	2.9	2.9	3.7	3.9	4.0	4.2	4.5	4.8	5.3
45歳～49歳	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1

第5表 合計特殊出生率の年次推移（全国、東北6県比較）

年	全国	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県
昭和							
50	1.91	2.00	2.14	1.96	1.86	1.96	2.13
55	1.75	1.85	1.95	1.86	1.79	1.93	1.99
60	1.76	1.80	1.88	1.80	1.69	1.87	1.98
平成							
2	1.54	1.56	1.72	1.57	1.57	1.75	1.79
7	1.42	1.56	1.62	1.46	1.56	1.69	1.72
12	1.36	1.47	1.56	1.39	1.45	1.62	1.65
17	1.26	1.29	1.41	1.24	1.34	1.45	1.49
18	1.32	1.31	1.39	1.25	1.34	1.45	1.49
19	1.34	1.28	1.39	1.27	1.31	1.42	1.49
20	1.37	1.30	1.39	1.29	1.32	1.44	1.52
21	1.37	1.26	1.37	1.25	1.29	1.39	1.49
22	1.39	1.38	1.46	1.30	1.31	1.48	1.52
23	1.39	1.38	1.41	1.25	1.35	1.46	1.48
24	1.41	1.36	1.44	1.30	1.37	1.44	1.41
25	1.43	1.40	1.46	1.34	1.35	1.47	1.53
26	1.42	1.42	1.44	1.30	1.34	1.47	1.58
27	1.45	1.43	1.49	1.36	1.35	1.48	1.58
28	1.44	1.48	1.45	1.34	1.39	1.47	1.59
29	1.43	1.43	1.47	1.31	1.35	1.45	1.57
30	1.42	1.43	1.41	1.30	1.33	1.48	1.53

第6表 主な死因別にみた死亡率（人口10万対）の年次推移

年	悪性新生物		心疾患		脳血管疾患		肺炎		老衰		不慮の事故		自殺	
	死亡率	順位	死亡率	順位	死亡率	順位	死亡率	順位	死亡率	順位	死亡率	順位	死亡率	順位
昭和														
50	117.9	39	84.1	39	172.4	32	39.7	20	30.7	26	40.7	8	16.6	32
55	140.4	32	107.4	36	157.8	30	40.7	21	35.0	23	34.5	10	20.3	11
60	174.3	20	129.0	23	134.9	20	49.3	18	31.1	18	28.0	22	24.2	9
平成														
2	192.4	21	151.8	22	111.8	28	64.7	28	26.7	16	30.0	23	19.4	11
7	236.0	15	133.5	11	141.9	17	77.9	15	25.3	14	38.4	19	20.1	9
12	261.0	16	136.9	13	135.5	12	86.2	13	21.7	17	39.4	15	27.5	6
15	283.2	10	148.7	16	138.5	11	89.4	17	20.6	24	35.0	25	39.5	2
16	298.8	9	154.7	13	141.2	9	91.7	19	22.7	21	37.4	19	38.3	2
17	305.9	10	172.9	10	141.3	11	100.9	20	23.4	26	36.6	25	36.8	2
18	313.9	6	171.2	10	134.8	11	104.2	14	26.7	21	34.4	27	31.1	6
19	327.7	6	167.6	13	134.3	10	107.1	18	30.6	17	35.0	23	33.4	3
20	334.7	3	173.1	14	136.2	11	118.1	13	32.9	23	33.4	30	34.1	2
21	328.4	7	179.9	13	133.7	9	119.2	10	37.2	21	34.3	28	34.6	2
22	349.3	2	192.3	10	137.5	8	119.1	12	44.4	18	40.3	18	29.4	3
23	353.2	4	197.4	12	141.5	7	127.6	11	46.3	24	35.7	29	26.2	7
24	356.7	4	210.8	8	145.9	6	144.1	5	59.0	21	37.9	24	24.3	7
25	369.7	2	198.7	10	135.5	8	143.1	4	66.4	21	37.4	25	23.3	8
26	379.5	2	196.1	13	132.5	6	132.2	7	74.7	19	42.6	11	20.5	12
27	385.9	2	197.9	12	130.7	6	135.3	5	78.7	22	37.8	22	20.5	11
28	390.2	2	199.1	11	124.8	9	136.4	5	87.0	21	41.8	14	21.0	5
29	391.4	2	205.7	13	133.4	4	110.4	8	92.5	22	44.6	9	20.8	3
30	393.2	2	213.4	12	132.4	4	106.2	7	105.6	18	43.0	16	20.6	2

※ 「肺炎」－昭和50、55、60年、平成2年は当時の死因分類により「肺炎及び気管支炎」を計上。

第7表 死亡順位別にみた死亡数の構成割合

		昭和60	平成2	7	12	17	22	23
第1位	死因分類名	悪性新生物	悪性新生物	悪性新生物	悪性新生物	悪性新生物	悪性新生物	悪性新生物
	割合	25.1	26.4	27.9	29.2	29.5	29.8	29.3
第2位	死因分類名	脳血管疾患	心疾患	脳血管疾患	心疾患	心疾患	心疾患	心疾患
	割合	19.5	20.8	16.8	15.3	16.6	16.4	16.4
第3位	死因分類名	心疾患	脳血管疾患	心疾患	脳血管疾患	脳血管疾患	脳血管疾患	脳血管疾患
	割合	18.6	15.3	15.8	15.2	13.6	11.7	11.7

		平成24	25	26	27	28	29	30
第1位	死因分類名	悪性新生物	悪性新生物	悪性新生物	悪性新生物	悪性新生物	悪性新生物	悪性新生物
	割合	27.8	28.8	29.4	29.4	29.1	28.4	27.6
第2位	死因分類名	心疾患	心疾患	心疾患	心疾患	心疾患	心疾患	心疾患
	割合	16.4	15.5	15.2	15.1	14.8	14.9	15.0
第3位	死因分類名	脳血管疾患	肺炎	脳血管疾患	肺炎	肺炎	脳血管疾患	脳血管疾患
	割合	11.4	11.2	10.2	10.3	10.2	9.7	9.3

第8表 主な死因別にみた年齢調整死亡率の推移

死因	平成7年		12		17		22		27	
	男性		男性		男性		男性		男性	
	死亡率	全国順位	死亡率	全国順位	死亡率	全国順位	死亡率	全国順位	死亡率	全国順位
総数	833.1	2	755.9	1	733.4	1	662.4	1	585.6	1
悪性新生物	247.3	6	240.2	3	234.1	1	215.9	1	201.6	1
心疾患	123.0	1	102.5	1	108.0	1	98.8	1	76.8	6
脳血管疾患	122.1	2	102.7	1	84.0	1	67.1	2	52.8	1
肺炎	78.2	1	69.3	1	61.7	1	58.6	1	49.1	1
自殺	28.1	8	34.8	11	52.2	1	39.1	2	26.5	11
不慮の事故	51.0	5	44.3	2	37.1	8	33.0	3	25.4	7
腎不全	14.8	2	11.9	1	10.0	11	12.8	1	10.0	1
肝疾患	17.8	12	17.3	6	15.8	5	12.6	7	10.9	8
糖尿病	10.8	16	9.9	3	9.0	7	9.0	1	9.3	2
老衰	13.4	7	8.7	7	6.6	14	7.8	17	10.5	19
死因	女性		女性		女性		女性		女性	
	死亡率	全国順位	死亡率	全国順位	死亡率	全国順位	死亡率	全国順位	死亡率	全国順位
	総数	404.9	3	346.5	2	322.9	2	304.3	1	288.4
悪性新生物	110.3	11	101.1	23	99.6	9	105.6	1	103.0	1
心疾患	63.7	7	53.5	6	50.2	8	44.9	8	36.6	16
脳血管疾患	72.5	7	51.6	9	45.3	2	34.0	3	28.2	3
肺炎	32.2	7	26.9	2	24.1	7	20.2	15	19.6	4
自殺	8.7	35	11.8	8	11.8	9	12.4	10	7.4	40
不慮の事故	16.3	24	14.4	18	11.9	25	10.9	22	9.7	12
腎不全	9.0	3	8.4	1	6.4	5	5.8	8	5.2	3
肝疾患	5.1	29	4.2	29	4.4	15	4.3	11	3.7	13
糖尿病	7.5	9	4.8	12	4.3	11	4.0	10	3.7	2
老衰	14.2	5	8.9	7	6.8	22	10.1	13	13.1	25

※ 年齢調整死亡率

各都道府県間では年齢構成に差があるため、高齢者の多い地域では死亡率が高くなる傾向にあるため、このような年齢構成の異なる地域間で適切に死亡状況を比較できるように年齢構成を調整した死亡率。調整に当たっては、昭和60年モデル人口を基準人口として使用する。厚生労働省では、都道府県別の年齢調整死亡率を5年ごとに公表している。

第9表 乳児死亡数及び死亡率の推移

年	乳児死亡数				
	青森県			全国	
	死亡数	死亡率	全国順位	死亡数	死亡率
昭和50	291	12.1	7	19,103	10.0
55	180	8.3	13	11,841	7.5
60	109	5.7	20	7,899	5.5
平成2	86	5.9	5	5,616	4.6
7	77	5.5	4	5,054	4.3
12	64	5.0	1	3,830	3.2
15	45	3.8	2	3,364	3.0
16	27	2.3	44	3,122	2.8
17	29	2.8	28	2,958	2.8
18	32	3.0	8	2,864	2.6
19	26	2.6	23	2,828	2.6
20	21	2.1	41	2,798	2.6
21	33	3.5	3	2,556	2.4
22	21	2.2	35	2,450	2.3
23	23	2.4	16	2,463	2.3
24	24	2.6	10	2,299	2.2
25	14	1.5	45	2,185	2.1
26	17	1.9	34	2,080	2.1
27	20	2.3	8	1,916	1.9
28	18	2.1	19	1,928	2.0
29	18	2.2	11	1,761	1.9
30	15	1.9	21	1,748	1.9

第10表 新生児死亡数及び死亡率の推移

年	新生児死亡数				
	県			国	
	死亡数	死亡率	全国順位	死亡数	死亡率
昭和50	193	8.0	11	12,912	6.8
55	124	5.7	11	7,796	4.9
60	78	4.1	9	4,910	3.4
平成2	48	3.3	9	3,179	2.6
7	46	3.3	4	2,615	2.2
12	47	3.6	1	2,106	1.8
15	30	2.6	1	1,879	1.7
16	17	1.5	26	1,622	1.5
17	20	1.9	3	1,510	1.4
18	22	2.1	2	1,444	1.3
19	17	1.7	9	1,434	1.3
20	11	1.1	30	1,331	1.2
21	17	1.8	6	1,254	1.2
22	12	1.2	15	1,167	1.1
23	8	0.8	35	1,147	1.1
24	15	1.6	3	1,065	1.0
25	6	0.7	43	1,026	1.0
26	9	1.0	17	952	0.9
27	13	1.5	3	902	0.9
28	8	0.9	21	874	0.9
29	13	1.6	2	832	0.9
30	10	1.3	斜線	801	0.9

※ 新生児死亡率の全国順位は、今回、国から公表されないため、斜線とした。

第11表 周産期死亡数及び死亡率の推移

年	周産期死亡数				
	県			国	
	死亡数	死亡率	全国順位	死亡数	死亡率
昭和50	425	17.7	13	30,513	16.0
55	261	12.0	22	18,385	11.7
60	166	8.7	11	11,470	8.0
平成2	91	6.2	13	7,001	5.7
7	116	8.3	5	8,412	7.0
12	103	7.9	1	6,881	5.8
15	73	6.2	4	5,929	5.3
16	59	5.1	24	5,541	5.0
17	56	5.3	11	5,149	4.8
18	68	6.4	2	5,100	4.7
19	55	5.4	5	4,906	4.5
20	45	4.4	18	4,720	4.3
21	46	4.8	9	4,519	4.2
22	39	4.0	31	4,515	4.2
23	40	4.2	30	4,315	4.1
24	38	4.1	18	4,133	4.0
25	26	2.8	45	3,862	3.7
26	28	3.2	39	3,750	3.7
27	40	4.6	7	3,728	3.7
28	26	3.0	39	3,516	3.6
29	32	4.0	10	3,308	3.5
30	23	2.9	35	3,046	3.3

※ 死亡数、死亡率の算定方法が、平成6年以前と平成7年以降では異なっている。

	死亡数	死亡率
平成6年以前	妊娠28週以後死産 ＋早期新生児	出生千対
平成7年以降	妊娠22週以後死産 ＋早期新生児	出産千対（出生＋妊 娠22週以後死産）





### 【問い合わせ先】

項 目	該当ページ	担 当 課	連 絡 先
出 生	6,7	こどもみらい課 子育て支援グループ	(直通) 017-734-9301 (内線) 6301
死 亡	三大死因による死亡	8~10 がん・生活習慣病対策課 がん対策推進グループ	(直通) 017-734-9216 (内線) 6342
	自殺による死亡	10,11 障害福祉課 障害企画・精神保健グループ	(直通) 017-734-9307 (内線) 6321
	乳児・新生児死亡	12,13 こどもみらい課 家庭支援グループ	(直通) 017-734-9303 (内線) 6307
	周産期死亡	12,13 医療薬務課 地域医療確保グループ こどもみらい課 家庭支援グループ	(直通) 017-734-9287 (内線) 6244 (直通) 017-734-9303 (内線) 6307
婚 姻	14	こどもみらい課 子育て支援グループ	(直通) 017-734-9301 (内線) 6301
その他数値に関すること		健康福祉政策課 企画政策グループ	(直通) 017-734-9277 (内線) 6215